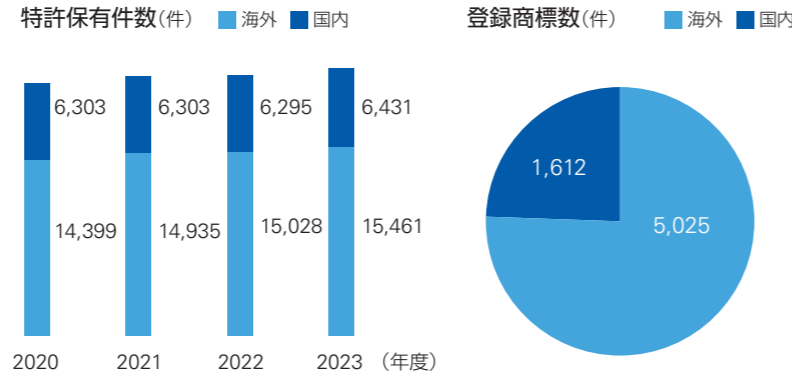


# 知的財産



## 知的財産に関する基本方針

東レグループは、以下の4つを基本方針として知的財産戦略を構築し実行しています。

### 1. 経営方針に沿った三位一体の知的財産戦略

東レグループは、重要な経営資源の一つである知的財産の戦略を、事業戦略及び研究・技術開発戦略と相互に有機的に連携し、「三位一体」のものとして経営戦略を構成する最も重要な要素の一つと位置付けています。

### 2. 権利取得の促進

東レグループの製品・技術を守り、利益を確保するために、質の高い特許出願、権利化を推進し、牽制力のある強い特許網の構築に努めています。商標についてはブランド価値向上

を意識した適切な権利の取得を実行しています。

### 3. 他人の権利の尊重

他人の権利を侵害することのないように東レグループの製品・技術と他社特許等との関係を包括的に調査する特許確認制度を設けています。商標についても使用前に他社登録商標との関係を確認しています。

### 4. 自己の権利の正当な行使

東レグループは、他人による権利侵害に対する侵害行為の中止要請のほか、ライセンス許諾による金銭的利益の享受及び他人の権利とのクロスライセンス等、正当な権利行使や活用を行い、状況に応じて適切な措置を取ります。

## 知財戦略実行のための制度、取り組み

東レグループでは、基本方針に沿った知財戦略を以下の制度、取り組みなどによって実行しています。

### 1. 特許責任体制、グローバル特許戦略責任体制

東レ本体及び主要関係会社において、製品・技術群ごとに特許責任者を選任し、知財部門、研究部署、技術開発部署、営業部署のメンバーが参画する「特許会議」を設置しています。出願・権利化、防衛、権利活用の活動は、特許会議で検討のうえ進められています。また、各事業分野の技術・生産担当役員をグローバル特許戦略責任者とし、各事業分野において東レ本体及び国内外関係会社が行うグローバルな知財活動を指導・監督しています。

### 2. 知財実行計画の策定、実行

グローバル特許戦略責任者(各事業分野の技術・生産担当役員)の指導の下、各事業分野における知的財産の重要な課題について「知財実行計画」を策定し、実行しています。特に重点化すべきテーマはAランクプロジェクトに選定し、注力し

て推進しています。「知財実行計画」の推進状況については年に一度、取締役会で報告を行っています。

### 3. 知的財産による他社参入障壁の構築

東レ本体及び主要な国内外関係会社において、特許出願・権利化とノウハウ秘匿を戦略的に使い分け、強固な他社参入障壁の構築を進めています。

### 4. 特許確認制度

新製品を製造、販売する時などに、当社技術や製品の使用、生産、販売等が他人の特許等を侵害しないことを確認することを徹底しています。

### 5. IPランドスケープへの取り組み

知財戦略を策定するためにIPランドスケープを実行できる人材(知財アナリストなど)の育成、調査ツールの整備を進め、事業環境の分析、新規・強化テーマの分析、当社特許の活用先探索などへの活用を実践しています。

## 地球環境問題解決に寄与する東レの知的財産

### 水素社会実現に向けた技術

「水素社会」とは、水素の利用が日常生活・経済活動などに浸透した社会を意味しますが、東レは水素が現在のように注目されるずっと前から、水素関連製品の研究開発に取り組んできました。

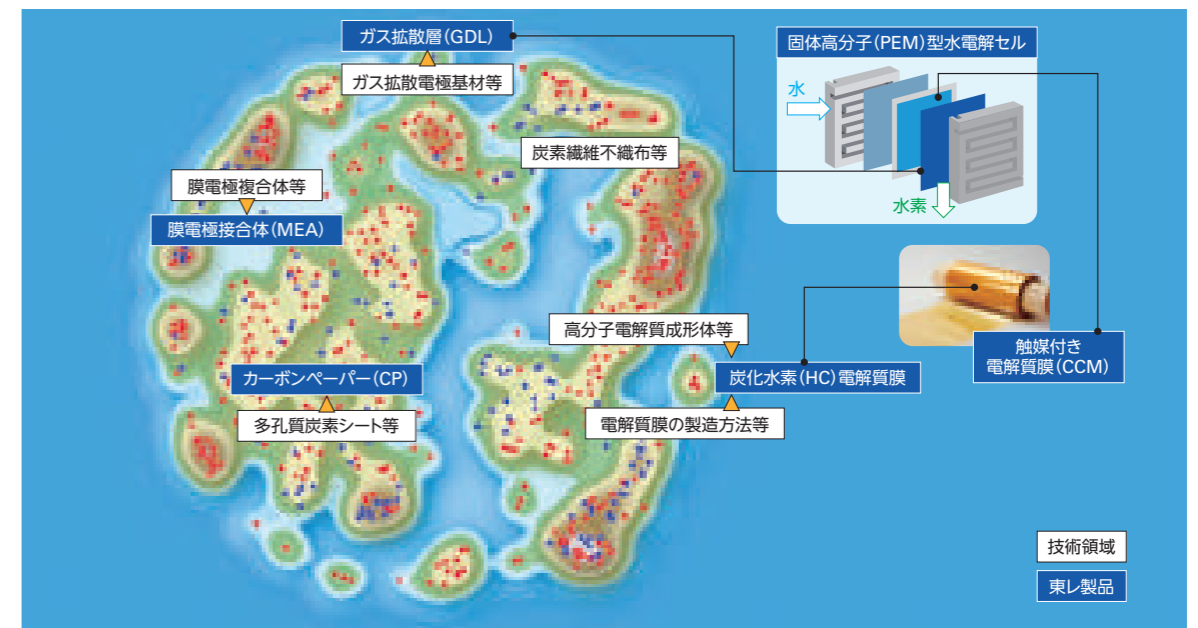
例えば下の図は、東レグループが保有する特許または特許出願の内、高分子固体電解質型燃料電池に関する国際特許分類(IPC)が付与されたケースの状況をマップ化したもので、多数の研究開発成果物が色分けされた点(特許:赤、特許出願:青)で示されています。

各技術領域には、東レ独自のポリマー設計、精密重合技術、ナノレベル構造制御技術から生まれた炭化水素(HC)電解質膜や、世界最大級の生産能力を有するガス拡散層

(GDL)等に関する基本的かつ重要な発明がそれぞれ含まれています。それらの発明は、触媒付き電解質膜(CCM)や、固体高分子(PEM)型水電解セルといった製品群への高い付加価値の付与に貢献しており、更に各技術領域のシナジーによる新たな価値の創出を実現していきます。

これらの権利に加えて、水素の効率的な輸送に役立つ水素貯蔵タンク用高強度炭素繊維に係る特許などに基づいた東レの水素関連事業は、水素を「作る」「ためる・運ぶ」「使う」のサプライチェーン全般にわたって独自の先端材料・サービスを幅広く展開して水素社会の実現に向けて貢献しており、ソリューション提供を更なる価値創造につなげながら、持続可能な高収益事業を目指していきます。

高分子固体電解質型燃料電池技術関連特許のランドスケープマップ(各点:東レグループの特許または特許出願)



## 東レの知的財産の評価

### 「他社牽制力ランキング2023」・「特許資産規模ランキング2023」紙・繊維・パルプ業界で首位

パテント・リザルト社が毎年発表している「他社牽制力ランキング」は、先進的な特許出願の指標として、その年の特許審査過程において他社出願への拒絶理由で引用された件数を企業別に集計したものです。東レは紙・繊維・パルプ業界のランキングで12年連続首位を獲得しました。同じ指標を用いているため、紙・繊維・パルプ業界と化学業界をひとつの業界としてランキングしても3位となります。

また同じくパテント・リザルト社が例年発表している「特許

資産規模ランキング」は、1年間に登録された特許を対象に、個別特許の注目度を得点化した「パテントスコア」を用いて、企業別に総合得点を集計したものです。東レは紙・繊維・パルプ業界のランキングで2013年版以降、毎回首位を獲得し続けています。

なお、特定の技術分野に着目して日米欧中の主要4国・地域におけるパテントスコアを合算した評価である「特許力総合ランキング」についても、東レは2024年7月に発表された「半透膜を用いた分離関連技術」のランキングで首位を獲得しました。